

佐渡における植物の新産種と追加記録、 アスヒカズラ・オオナンバンギセル

中川清太郎

アスヒカズラ *Lycopodium complanatum* L. (ヒカゲノカズラ科)

佐渡市豊田梨ノ木越 海拔306m [河原田 5638-78-08] (2009, 8, 28)

孢子囊穂の先端が図鑑ではツクシやヒカゲノカズラのように丸みを帯びているが、採集した標本では先が尖っている。これは孢子囊形成の過程で変形したとみるのが妥当と思われる。県内における低海拔の自生であり、佐渡の新産である。また、小佐渡の自生であることも興味深い。



写真1-1



写真1-2

オオナンバンギセル *Aeginetia sinensis* G. Beck (ハマウツボ科)

シロバナオオナンバンギセル var. *albiflora* K. Asano

佐渡市豊田梨ノ木越 海拔306m [河原田 5638-78-08] (2009, 7, 28)

法面の西向きおよび東向き斜面である。「見たことのないものがある」との情報提供を池田雄彦氏にいただいた。昨年ほぼ同所でナンバンギセルの一株を持ち去るのを急ぎの車から見たが、オオナンバンギセルの盗掘とは考えが及ばなかった。

花色は濃淡連続的に変化に富み純白品も見られ、シロバナオオナンバンギセルとして付記する。ナンバンギセルより一回り大きく美しい花である。本種の自生地は長続きせず、なぜか消滅すると云う。1993, 8, 1 佐渡市小倉千枚田 435m [(畑野) 5638-73-43] でも咲き始めの密生した群生を見ているがやはり2~3年で消滅した。



写真2-1



写真2-2

参考文献

- 倉田 悟(1990)
日本羊歯植物図鑑6
東京大学出版会
牧野恭次(2000)
新潟県の羊歯植物誌
清水建美(1997)
長野県植物誌
信濃毎日新聞社



写真2-3



写真2-4